



◀学校祭



あつま田舎まつり▶

あつま田舎まつり参加 学校祭実施

6月18日には「田舎まつり」が行われました。本校からは生徒27人と、教員4人、苦小牧東高校から生徒7人と教員1人が恒例の田舎まつりパレードに参加しました。全員、浴衣と法被に身をこめて、踊りの練習の成果もあって、振り付けも様々になっていて、皆で楽しく参加することができました。有意義な時間となりました。

7月15日、16日には、学校祭が行われました。今年度のテーマは、「It's a sweet world」です。お菓子の国へようこそというイメージとして、クラス展示、個人発表などに取り組みました。1日目の昼食は恒例の恒例のジンギスカンパーティーを恒例のジンギスカンパーティーで大盛況でした。また、2日目には苦小牧東高校の生徒会、各クラスも参加し、さまざまな企画を行いました。学校祭とおして、交流を深めることができました。内や学年間、学校間の親睦を深める良い機会になったと思います。

次号では、今年から発足した「ボランティアクラブ」についてお伝えしたいと思います。

私たちのクラスは、とても楽しく明るくクラスです。つらい事や大変なことでも、みんなで協力し乗り越えてきました。

一学期最大イベントの体育大会では「しばって走れ」という種目で苦戦しました。最初に走った時は、なかなかよかったです。その後、なかなか記録が伸びませんでした。また、おたがいの意見などがぶつかり、もめたこともありました。そんな時は、みんなで話し合い、解決しました。このクラスは、本番に強い人ばかりなのかもしれません。当日では、新記録を出すことができました。二・三年生に勝つことはできなかったけど、私たちの中では大満足でした。

クラスじまん!

厚真中学校 1年生

書いてくれたのは…

堀川 美空さん



六月にあつた登山でも、協力し、がんばることができました。頂上までの距離が長かったけど「がんばれ」や「大丈夫?」などの声をかけ合って、登りきることができました。頂上での合唱も、上手いきました。一列に立ち、目の前の雲を見ながら歌うのはとても気持ちよく、空を飛んでいるようで、いい経験になりました。

入学してから約四カ月、私たち一年生は、まだ成長の途中です。意見や考えなどもめることはたくさんあります。厚真中学校の一員として、まだまだなところはたくさんありますが、クラス二十人で力を合わせて、がんばっていきたいと思います。

厚真町 地域おこし 協力隊



地域おこし協力隊 教育交流活動支援員

おはら
小原えりかさん (32歳)

着任 平成28年7月 (1年目)

出身地 神奈川県川崎市

経歴 音大の大学院を卒業後、ピアノ教室で音楽指導、中高等教諭専修免許(音楽)保有

file.01

>厚真町の印象は?

素敵な景色やおいしい空気が最高です。また、親切で優しい方が多いと思います。

>応募のきっかけは?

6年ほど前にアトピー治療のため北海道へ訪れた際、雄大な自然やおいしい食べ物など北海道の魅力に感動し、移住したいと考えていました。ホームページで厚真町の募集を見つけ、調べていくうちに教育や子育ての取り組みに興味をもち応募しました。

>どんな活動をしていますか?

「放課後こども教室」のスタッフのお手伝いをしています。

>今後の目標は?

「交流」・「音楽」・「教育」で厚真町を盛り上げていきたいです。いつか音楽教室を開きたいと思っています。

>厚真町のみなさんに一言

現在、厚真町には農業、林業、観光、教育の分野で地域おこし協力隊が活動しています。今月から、広報で地域おこし協力隊の活動や新たな魅力、発見などを紹介していきます!



あつまちゅうおうしょうがっこう 5年
たけやま ゆず さん
竹山 柚ちゃん (11歳)

動物のパズルを作りました。パズルのパーツの大きさを色々変えて複雑にしました。



ぼくの わたしの 作品 紹介



あつまちゅうおうしょうがっこう 5年
にし みゆう さん
西 美悠ちゃん (10歳)

うさぱんだがうまく描けました。パーツをいとのこで丸く切るのが難しかったです。

短歌

帰省せし息子と共に墓掃除この幸せが続くを祈る (本郷 本田 博子)

暑き盆大きな行事一つ去り郷愁の秋がまたやって来る (本町 飛谷 富夫)

行く夏をおしむがに蟬の鳴きをりぬ命限りと言ふがに聞こゆ (宇隆 加賀谷 明美)

あつま文芸友の会発行「文芸あつま 第二十一号」から抜粋